

北朝鮮の地下核実験に断固抗議する決議

核兵器の廃絶と恒久平和の実現は人類の悲願となっている。とりわけ、広島、長崎への原爆投下による惨禍を経験した唯一の被爆国である日本国民は、人類に再びこの不幸を繰り返さぬよう全世界に訴え続けてきた。

さらに、ノーベル平和賞受賞者17人が発表した「ヒロシマ・ナガサキ宣言」は、核を違法な兵器と表現し、第二次大戦後に核が使われなかった背景として「第二のヒロシマ・ナガサキ」を回避するために世界へ呼びかけ続けてきた被爆者たちの強い決意があったと指摘し、核兵器のない世界の実現を呼びかけている。

このように全世界で核軍縮、廃絶に向けた機運が高まっている中、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、平成21年5月25日に核実験を実施したと発表した。これは、国連安全保障理事会が平成18年10月に北朝鮮が実施した核実験に対し追加的な核実験をしないよう求めた制裁決議や、さらには、国際社会の自制要求に耳をかさず、本年4月に「試験通信衛星」の打ち上げを名目に長距離弾道ミサイルを発射したことを非難した国連議長声明を無視したものである。

北朝鮮の行為は国際社会として断固許すことのできないものであり、国際社会は一致団結した取り組みを強めていくべきである。世界の諸都市とともに世界平和の実現に向けて取り組んでいるピースメッセンジャー都市横浜は、本年開港150周年を迎えたことを契機として、市民とともに横浜から、世界が持続可能な発展を遂げていくために地球規模での共生を発信する新たな歩みを始めている。

よって、横浜市議会は、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を目指し、北朝鮮の核実験に断固反対し強く抗議するものである。

以上、決議する。

平成21年5月29日

横浜市議会